

できることをみつけよう

校長 萩原 哲哉

やなぎっ子のみなさん、お元気ですか。8日に、始業の会、入学の会でお会いして以来ですが、毎日どう過ごしていますか。怖い病気の流行で、「当たり前」のことが当たり前でなくなって一カ月以上が過ぎました。現時点のゴールは、5月6日（水）です。翌日の7日（木）に皆さんにお会いできることを、楽しみにしています。

始業の会では、『『しょうがない』は始まりの言葉』というお話をしましたが、覚えていてくれますか？

「しょうがない」は、ものごとをあきらめる時によく使うので、普段はマイナスのイメージの方が強くなりますね。でも今、こうした状況だからこそ、この言葉を見直してみましよう。春を告げる桜の花、いつまでも咲いていて欲しいけれど、時が来れば散ってしまうのは「しょうがない」こと。桜は花びらを散らせた瞬間から、次の季節へ進んでいます。立ち止まることはありません。

毎日忙しい時には、「休日になったら、あれをしよう。」「今度、ゆっくり時間ができたら、これをやろう。」と、たくさんのお思いが浮かんでくるものです。ならば、今できることは、「学校がはじまったら、〇〇をやってみよう。」「友達と、〇〇の競争をしよう。」と、学校が始まった時に、やってみたいことを一つでも多く考えておきましょう。いろいろなことが「できない」状況を残念にとらえるのではなく、「できること」を一つでも多く探すが、このお休みの時間を過ごすための、コツなのだと思います。

とはいっても、つらい気持ちになってしまう人もいることでしょう。授業はありませんが、学校には先生方が、交代で出勤なさっています。一人ひとりへお電話もしてもらいますが、先生に相談したい、悩みを聞いてほしい、という人は、がまんしないで、学校に連絡をしてもらって構大丈夫ですよ。先日御紹介した先生が、今年一年、みなさんの担任の先生です。もちろん片小の先生方全員が皆さんの「応援団」ですので、他の先生方でも構いません。それでみなさんのつらい気持ちが少しでも晴れるのなら、先生方は大変うれしく思います。

桜が散って、ハナミズキの街路樹がきれいに咲いています。芝川沿いには「一面の菜の花」が続いています。皆さんにお会いできるころ、片柳は何の花で覆われているのでしょうか。その花と、花越しに登下校する皆さんの姿を待望しています。

花びらの数と同じだけ 生きていく強さを感じる
嵐吹く風に打たれても やまない雨はないはずと
人はみな心の岸辺に 手放したくない花がある
それはたくましい花じゃなく はかなく揺れる一輪花

(コブクロ「桜」)